

2021年度第2回新潟競馬特別レース名解説

<第1日>

○ はやぶさ賞

はやぶさは、ハヤブサ科の鳥。背面が青灰色で、腹面は白地に褐色の斑点があり、目の下に暗色斑が伸びている。くちばしは鋭く曲がり、翼は長くて先が尖っている。また、急降下時の速度は時速300kmに到達すると言われている。

○ 谷川岳ステークス(L)

谷川岳(たにがわだけ)は、群馬県と新潟県の境にある山。標高1,977m。一ノ倉岳・万太郎山・茂倉岳などとともに谷川連峰を形成している。険しい岩壁や複雑な地形が入り組んでおり、ロッククライミングのスポットとしても有名。

○ 五泉特別

五泉(ごせん)は、新潟県下越地方にある市。阿賀野川中流域に位置する。織物産業が盛んで、五泉平と呼ばれる袴地が有名。京都の丹後、滋賀の長浜とともに全国三大白生地産地に数えられている。

<第2日>

○ 邁進特別

邁進(まいしん)は、ひたすら目的に向かって進むこと。新潟競馬場の直線コースを、競走馬がひたすらゴールを目指して進むイメージから名付けられた。

○ 新潟大賞典(GⅢ)

本競走は、昭和42年から53年にかけて実施されていた『福島大賞典』(53年は『新潟ステークス(第12回福島大賞典)』の名称で実施)の廃止に伴い、54年に創設された重賞競走。当初は2000mのハンデキャップ戦であったが、59年に2200mに延伸された。平成7年から再び2000mに変更され現在に至る。

○ 三条ステークス

三条(さんじょう)は、新潟県中央部の市。加茂市と燕市の間に位置する。泉州堺(大阪府堺市)、播州三木(兵庫県三木市)と並ぶ日本三大金物町であったため、現在でも金属加工を中心とした産業が盛んである。

<第3日>

○ わらび賞

わらびは、コバノイシカグマ科のシダ植物。日当たりのよい山地に生え、早春、先端がこぶし状に巻いた新芽が地下の根茎上から直立して芽吹く。根茎は砕いてデンプンとして用いられ、このデンプンからわらび餅が作られる。

○ 八海山ステーキス

八海山（はっかいさん）は、越後山脈の一峰。標高 1,778m。越後駒ヶ岳、中ノ岳とともに越後三山と称され、山頂部は険しい岩峰で形成されている。御岳行者が修行を積む霊峰として有名。越乃寒梅とともに地酒ブームの火付け役となった銘酒八海山もこの山から命名されている。

○ 胎内川特別

胎内川（たいないがわ）は、新潟県と山形県の境を流れる川。延長 39.1km。飯豊山地の藤十郎山に源を発し、北西に流れ、途中で複数の支川と合流し日本海へ注ぐ。

<第4日>

○ 春日山特別

春日山（かすがやま）は、新潟県上越市の町。戦国時代の武将、上杉謙信の居城であった春日山城跡が有名。春日山城は、南北朝時代に築かれた要塞を、謙信の父・長尾為景が改築、整備した山城で日本五大山城の1つとされている。江戸時代に堀氏が新たに居城を築城したため、慶長 12 年（1607）に廃城となった。

○ 弥彦ステーキス

弥彦（やひこ）は、新潟県中部にある村。同村と長岡市にまたがってそびえる弥彦山は、佐渡弥彦米山国定公園の中核をなす標高 634mの山であり、弥彦神社の霊峰である。弥彦神社の燈籠神事は、昭和 53 年に国の重要無形民俗文化財に指定された。

○ 中ノ岳特別

中ノ岳（なかのだけ）は、新潟県南東部、越後山脈中にある山。標高 2,085mは、越後駒ヶ岳、八海山とともに形成する越後三山の最高峰。急峻な岸壁、鋭い山稜、越年性雪渓のある山容が特徴。

<第5日>

○ 早苗賞

早苗（さなえ）は、苗代から田に移し変える時期の、稲の若い苗のこと。

○ 大日岳特別

大日岳（だいにちだけ）は、新潟県北部にある飯豊山地の最高峰。標高 2,128m。近くには飯豊連峰と呼ばれる、飯豊山、北股岳などの 2,000m級の間々が連なっている。

○ 荒川峡特別

荒川峡（あらかわきょう）は、新潟県北部の岩船郡を流れる荒川の上流の峡谷。溪口は荒川峡温泉郷が広がっている。また、並行して走る国道 113 号線は、新緑シーズンから紅葉シーズンまでドライブコースとして人気がある。

<第6日>

○ 二王子特別

二王子（にのうじ）は、新潟県の北東部、胎内川上流にあたる飯豊連峰にある山。標高 1,420m。溪谷美で知られる胎内川などとともに胎内二王子県立自然公園を形成している。

○ 韋駄天ステークス

韋駄天（いだてん）は、仏教の一神。仏舎利を盗んだ鬼を追いかけて捕まえた挿話から、「足の速い人」の意で用いられる。

○ 火打山特別

火打山（ひうちやま）は、新潟県上越地方にある山。標高 2,462m。頸城三山の最高峰で、妙高山と新潟焼山の間中に位置する。名は、山容が火打石に似ていることに由来する。